

国語に関する調査の結果にみられる特徴と現状分析

- ◇「書くこと」に係る出題において、目的や意図に依りて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしたり、「読むこと」に係る出題において、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについて、よくできている。
- ◆「言葉の特徴や使い方に関する事項」に係る出題において、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

指導改善のポイント

〔知識及び技能〕

言葉の特徴や使い方に関する事項

○漢字を書くことについては、漢字の持つ意味を考えて使う習慣が身に付くようにすることが大切である。文の中の主語と述語との関係を捉えるには、日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすることが重要である。その際、主語の表し方は様々にあることや、主語と述語が離れて表されている場合があることを他の指導事項などと関連させて指導すると効果的である。

我が国の言語文化に関する事項

○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くためには、本などの中言葉から自分を支える言葉を見つけたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義をより強く実感できるようにすることが大切である。読書活動の年間計画を立て、「読書記録」等の取組を通して記録を見返すなどして、児童自身の気付きを引き出す学習場面を設定するとよい。

〔思考力、判断力、表現力等〕

話すこと・聞くこと

○資料を活用するなどし、自分の考えが伝わるように表現を工夫するためには、相手や目的を意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることが重要である。音声言語だけでは理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合に資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心や情報量などを予想し、資料の順番を変えたり、適切な時間や機会での資料の提示の仕方について検討したりする時間を設けると効果的である。

書くこと

○事実と感想、意見とを区別して書くためには、事実を客観的に書くとともに、その事実と感想や意見との関係を十分捉えて書くことが重要である。情報を整理することで、伝えたいことが明確になることを児童が実感できるようにしたり、児童同士で書いた文章を読み合い、文章全体に一貫性があるかを確認めたり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているか、事実と考えを混同していないかを確認めたりする場面を設定するとよい。

読むこと

○登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断することが必要である。また、文学的な文章を読む際には、「どんな話だったか」というだけでなく、「どのように読むと、物語のよさに気付くことができるか」という点を意識して授業を行うことが大切である。

